



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2014~2015年度クラブテーマ
会長 石井 謙次

東京赤坂ロータリークラブ

No. 1295 / 2014. 10. 31

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

●本日の例会/ 2014年 10月 31日(金) 第1324回
卓話:「私が考える職業奉仕」
RI 第2750地区 奉仕プログラム委員会
職業奉仕委員長 小野 勝昭 氏

●前回報告 / 2014年 10月 24日 第1323回例会

卓話: 「人生、好きに楽しく生きる人が勝ち!」
棋士・元名人・本因坊 武宮 正樹 氏



卓話紹介: 佐久間会員

会長報告 :

カリifornニアよりいらっしゃったギアンターシーフェルトさんとバナーを交換いたします。



親睦活動委員会:(河邊委員長)

11月4日に火曜会を開催いたします。この度入会した「藤井宏章さんを囲んで」ということで行いたいと思います。場所は、ANA インターコンチネンタルホテル東京 36F のミックスバー&ラウンジで、18:30~です。よろしくお願い申し上げます。

「ロータリーライフは例会から」
Rotary Begins from the weekly meeting

2750地区 地域社会奉仕委員長: (橋本年男)
2750地区奉仕プログラム委員会が主催する「奉仕プログラム情報交換会~奉仕のつどい~」を来る11月18日(火)に赤坂区民センターで開催致します。登録開始は13時30分からで、14時~17時まで開催されます。登録料は無料です。当日は多くの方に参加頂きたく思っています。特に3年未満入会の方は奉仕研修の意味もありますので出来るだけ参加して下さい。登録は31日まで益子さんにお願い致します。なお、案内書は本日皆様のポストに入れましたのでご覧ください。

幹事報告 :

本日まで受付に置いてある福山赤坂RCとの義捐金(広島豪雨被災支援金)は、次週31日の例会のときに、福山赤坂RCへお渡しする予定です。31日の例会には、福山赤坂RCより5名ほどいらっしゃる予定です。



10月 24日(金) / 8件 16,000円

累計 495,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

石井謙次/武宮先生本日の卓話宜しくお願ひ致します。小林博茂/囲碁の碁は古代中国の呉の国から伝わったそうです。ある日突然30,000の大軍がコツ然と消えたそうで、それが日本に渡り神武天皇伝説になったそうです。武宮先生本日楽しみです。西澤民夫/武宮先生、本日は大変楽しみにしています。どうぞ宜しくお願ひします。尾関武男/先週は出張の為休みました。今日は晚秋らしい素晴らしい天気ですね。小原健/素晴らしい秋晴れです。秦さんニコニコご苦労様です。石井達/皆様、お寒くなりましたので風邪をひかないように気を付けましょう。土屋東一/秦さんニコニコご苦労様です。秦一成/武宮様、宇宙流、肩に余計な力の入っていない解説等、小学生からの憧れです。

出席報告 : 会員 41名 /出席 28名 欠席 13名

ゲスト : 武宮正樹(卓話)、高橋俊充
Gunter Seefeldt(Menlo Park California)、
平尾壽雄(東京南RC)、藤田潔(東京新宿RC)
合計 5名 (敬称略)

●次回予告/2014年 11月 7日(金)第1325例会

卓話:「こまつ座」代表取締役社長
井上 麻矢 氏

職業奉仕月間 坂本俊雄ガバナー

「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」は、ロータリーの第2標語です。ロータリー創立以前からこの原則をもって世の人々は自分の仕事（職業）を行っていました。しかし無責任であったり、手抜きをするという欺瞞的な運営というものが、はびこっていたようです。それで1905年にポール・ハリスはロータリアンの仲間だけは責任をもって取引をしようとロータリークラブが創設されたのです。ロータリークラブも増えロータリアンは実業界・専門職で名誉、誠実、信頼を推進する力を持っており、紹介され多くの人が入会しました。そして一時「職業奉仕」に黄金律という概念を導入、これを職業奉仕と称したために、かえってロータリーの職業奉仕を簡潔に定義するのは難しくなったのです。たとえば子どもの命を救うことや障がい者に車椅子を提供すること、奨学生を他国に送ることに比べ、職業奉仕は目に見えにくい奉仕です。それと創立時の仕事（職業）の種類は増え続けています。クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕の活動は通常ロータリアンが集まって（集団）で参加しますが、職業奉仕は個人で行うのが普通です。しかし職業奉仕が必ずしも個人ではなく、インターンシップのような青少年奉仕での職業奉仕は個人あるいは集団で行うこともあります。手続要覧の奉仕部門に職業に関する経験、能力や倫理も加えられた「ロータリーの行動規範」が掲載されました。

（ガバナー月信10月号より）

地区 職業奉仕委員会活動計画

「職業奉仕という考え方には、他の多くの奉仕団体にない、ロータリーならではの特徴でロータリーの金看板とも言えます。言い換れば、ロータリーのロータリーの所以は、この職業奉仕という考え方があるからではないか…。」とは良く聞く言葉です。しかし改めて問われるとその答えに詰まってしまうのも事実です。

何故、そんなに解りにくいのでしょうか…？それは、職業奉仕は「理念」という、職業人として持つべき抽象的な言葉を表現する事になるので、その内容がはっきりと目に見えて判るものではないという事があります。職業奉仕を理解しようとする時、職業奉仕という事の意味に関する点と、職業人としてどう実践するかという具体的方法に関する部分を混同し、（一緒の事として）同時に考えようとするからではないかと思います。そうした場合、高邁で迂遠な理論に先ず触れてしまい、解りにくくなると考えます。

人間は、心（脳）で物事を考え、それを表現する為に身体を使って行動し目的を達します。この行動様式を、職業奉仕という事柄に当て嵌めた場合は、職業奉仕の持つ意味を心（理念）と考え、その心に基づいて、どう実践するかという具体的な方法を奉仕活動という行為と考える事で、表現出来ると思います。心と行動は相関にありますが、職業奉仕を理解する上で便宜上その事を切り離し、二つに分けて考える事で、比較的容易に理解出来ると思います。

職業奉仕の持つ意味を短い言葉で表わすと「職業奉仕とは、職業を営むと際して、社会に貢献するという意図を持ち、それが故に高い倫理観を持って臨み、職業生活に高い倫理観を充実させる事である。高い倫理観は、道徳律に従う事になる。」と言えます。従って、職業奉仕の持つ意味は職業人が抱く理念を指していると考え事が出来ます。

次に職業人としての具体的な行動基準は、どうあるべきか、どうする事によってロータリーの提唱する職業奉仕は実現出来るのか、という事ですが、「職業奉仕の実践は、職業の遂行に当り、顧客の満足を目指し、職業で成功する事を目標にして、フェアプレイの精神で営む事である。そうする事で、自らの職業を繁栄に導き、その結果は職業を通して社会に奉仕（貢献）する事に繋がる。」と言えます。

ロータリーにサービス（奉仕）の理念を取り入れたのは、アーサー・シェルドンです。サービスは奉仕と訳されていますが、奉仕よりもっと概念の広い「人の為を思い、人を助ける行為…人の役に立つ行為全般」を表わしています。シェルドンは、ロータリー会員に「成功する商取引の方法」を説いて廻りました。

その中で、商取引を成功するには、自分の利益ばかりを考えていたのでは商取引は上手く行く筈がない、相手の利益を考える事で自分にも利益が生まれて来るし、そうする事で永続的な利益を上げて行く事が出来る。そして、永続的に利益を上げるには、顧客に満足を与える事が大事であるし、顧客が満足するには、良好な品質や接客態度、適正な価格、製造者責任や納期の厳守、法令遵守などの高い倫理観が必要となる。これがシェルドンの考え方です。そこからロータリーの2大標語のひとつ、「最も良くサービスするもの、最も良く報われる。」が生まれて来ました。

相手の為を思い、相手の役に立つ行為の意味を持つサービスを奉仕という言葉で表わしていますが、日本語の奉仕を、サービスの持つ意味、即ち「人の為になる行為」と理解し、その視点に立てば、どんな職業でも可能な事です。勿論、ギャンブル等は入りませんが人の為になるには道徳が高くないといけません。サービス（奉仕）から高い倫理性に通じます。そしてこの「人の役に立とう」と言うサービス（奉仕）の精神は、「より良き社会を造ると共に本人の幸せに通じる」という考え方をシェルドンは述べています。又、フェアプレイの精神は企業を再生させたという、ハーバード・テラーが提唱した「四つのテスト」の精神にも通じるものと考えます。日本の諺、「情けは人の為にならず」や「積善の家に余慶有り」というのも同様な考え方を示しています。ロータリー会員には、職業奉仕を理解して高い倫理観が求められる所以です。又、平たく言えば、シャルドンの職業奉仕理論は、商売繁栄の基本理念と理解出来ます。

職業奉仕委員会は、この様な考え方を基本にして職業奉仕を解く論説を学び理解して行く事を考えています。委員会の目的は、「ロータリー会員に職業奉仕の理念を理解して頂ける様に活動する事」です。活動内容は、9月末時点で14のロータリークラブから卓話依頼があり、順次卓話に出向いて活動を行っています。

（ガバナー月信10月号より）